



生徒会長の千葉さんに「平中まちづくり文庫」の書籍を手渡す小野寺理事長(右)

# 地域活動の担い手に

## 平泉中へ「まちづくり文庫」

特定非営利活動法人みんなでつくる平泉(小野寺郁夫理事長)は7日、平泉町立平泉中学校に「平中まちづくり文庫」を寄贈した。関係者は同

期待した。寄贈されたのは、グッドデザイン賞を主催・運営する日本デザイン振興会が刊行する受賞年鑑や同賞審査委員のコメント集「私の選んだ一品」など10冊。

同校生徒がワークショップ形式でデザインを考えた「みんなでつくるん台」の2012年度アップデートデザイン受賞に関わって、同振興会事務局から町内のまちづくりに携わる人に贈られた本で、生徒たちのまちづくり意識の高揚の一助になればと、同法人が窓口となって同校へ寄贈した。

贈呈式は同校で行われ、全校生徒210人をはじめ教職員、同法人の小野寺理事長、千葉正言副理事長、ワークショップで講師を務めた東北大学の平野勝也准教授、東京大の尾崎信助教らが出席。

寄贈に際し「みんなでつくるん台」が完成するまでの経緯、平泉のまちづくりとの関係などを解説、同振興会からのメッセージや町内で行われているまちづくり活動が紹介された。

小野寺理事長は「平泉のまちづくりに興味を持ち、目を向けてほしい。まちづくりは人と人との出会い、交流することが楽しい。これからも文庫を充実させていく」とあいさつ。

これに対し生徒会長の千葉満里奈さん(3年)がお礼の言葉を述べ、「これまでの活動を受け継ぎ、全校で平泉中や平泉町を活発にしていくなめまちづくり文庫を参考にしながら頑張りたい」と誓った。

みんなでつくるん台は校舎改築に伴い、新校舎交流ホールのレイアウトや活用策を自分たちで考えようと、当時の3年生がデザインを考案。人数や活動内容に合わせて自由に組み合わせを交えらる4分割構造の円弧形ベンチ、六角スツール、階段ステーションの3種類の台を完成させ、グッドデザイン賞を受賞した。